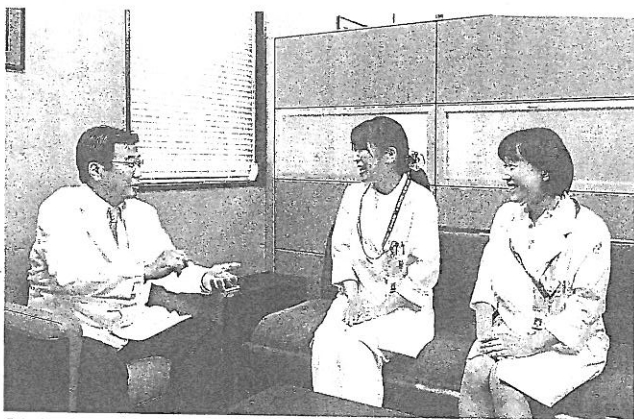




徳島ピンクリボン集会2014開催記念対談

「がんを克服する」



【出席者】
青田桂子 氏(徳島大学病院口腔内科助教)
山村佳子 氏(徳島大学病院口腔管理センター特任助教)
丹黒 章 氏(徳島大学病院副病院長、食道・乳腺甲状腺外科長、がん診療連携センター化学療法部門長)

がん治療の初期から必要な口腔ケア

丹黒：近年、がん治療における口腔ケアの重要性が再認識されてきています。

□は、身体のなかで食べ物が最初に入ってくる場所です。食べ物と一緒に飲み込み、咀嚼し、嚥下することから消化吸収が始まります。

□腔内をきれいに保つておくことが手術後の肺炎を防ぐことが知られていますが、抗がん剤の治療時に副作用として起こる□腔内炎は食欲を低下させるものとも大きな原因です。抗がん剤治療と外科手術の前に虫歯や歯周病などの歯科疾患の治療をしておくことは大事です。

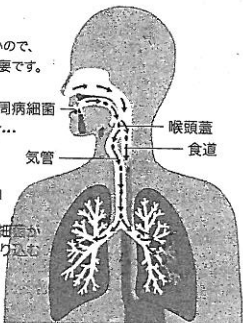
徳島大学病院では全身麻酔の手術を受ける患者さんや抗がん剤治療を始める前には徳島大学病院

口腔管理センターで口腔ケアを受けていたかのようにしています。

本日は徳島大学病院で手術前や抗がん剤治療の前に実際に口腔ケアを担当していただいている口腔内科助教の青田先生、山村先生に口腔ケアの重要性について話していただきます。青田先生、手術前の口腔ケアについて説明をお願いします。

術後合併症を減少させる 手術前の口腔ケア

青田：手術を受ける患者さんには、術前(手術前後)の□腔ケアが勧められます。手術前に虫歯や歯周病を治療し、歯垢をきれいに除去することにより□腔内の細菌の数を減らすことができます。



誤嚥性肺炎

胃に入れば、胃酸で殺菌できる

↓
口腔ケアを行うことで入院から退院までの治療がスムーズになります

【図1】 周術期口腔機能管理の目的

手術を受ける患者さんの場合

手術前になぜ口腔ケアが大切?

★口の中の細菌の数を減らして…

虫歯や歯周病の人は細菌の数が多いため、細菌数を減らすために口腔ケアが必要です。歯科を受診して専門家に口腔管理をお願いします。

★手術の傷の治りをスムーズにして…

口の細菌が傷に感染して治りが遅れることがあります。手術前後の口腔ケアで手術後の傷口の感染が少なくなることが証明されています。

★手術後の肺炎を防ぐ

口の中の細菌が原因で肺炎になることがあります。手術前後の口腔ケアで肺炎が少なくなることが証明されています。



丹黒 章氏

徳島大学大学院
胸部・内分泌・腫瘍外科学分科教授
徳島大学病院 副病院長
食道・乳腺甲状腺外科長
がん診療連携センター化学療法部門長



山村 佳子氏

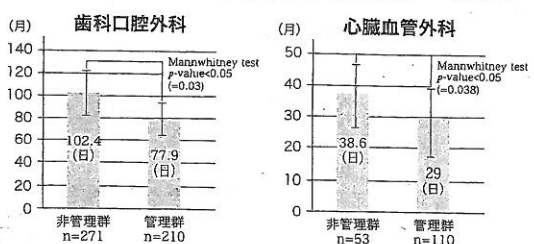
徳島大学歯学部卒業
徳島大学歯学部附属病院第一口腔外科 研修医
神戸大学大学院医学系研究科口腔機能学分野 研究員
徳島大学大学院口腔科学教育部博士課程修了
徳島大学病院口腔内科 医員
徳島大学病院口腔管理センター 特任助教



青田 桂子氏

徳島大学歯学部卒業
徳島大学大学院歯学部研究科博士課程修了
徳島大学大学院附属病院 研修医
天理大学歯学部附属病院歯科口腔外科 医員
大阪大学歯学部附属病院第二口腔外科 医員
徳島大学病院口腔内科 助教

周術期口腔機能管理による効果 【図2】



がん治療にも有効な口腔ケア

丹黒：がんは1981年以降日本国民の死因原因1位で2人に1人ががんに罹(か)び、3人に1人ががんで亡くなっています。がん治療を受けている人は全国で200万人を超え、徳島大学病院の外來化学療法率は年間延べ6千件の抗がん剤治療を行っています。

がんの治療は手術、放射線、抗がん剤や分子標的治療薬などによる薬物療法の3つが主なものですが、徳島大学病院では、がんの治療と併せて薬物療法を行う前に口腔ケアを実施しています。がん治療において口腔ケアを行うメリットは何でしょうか。

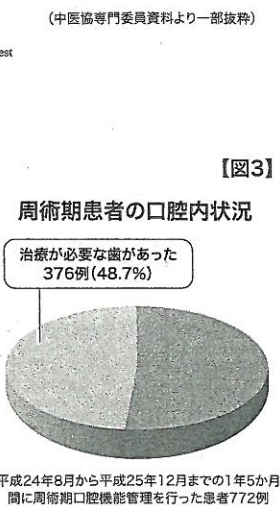
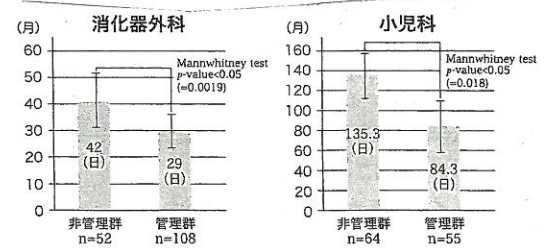
青田：がんの抗がん剤による治療も手術と同じように、体力や抵抗力を落とします。抗がん剤による副作用として一番多いのは白血球減少、血小板減少などの骨髄抑制、悪心、嘔吐、食欲不振や下痢などの消化器症状です。白血球が少なくなると肺炎などの感染をおこしやすいくなり、食欲不振などで栄養が不足すると感染を長引かせます。手術同様ほとんどの感染は口の中の細菌が原因となります。

□腔ケアを行うことにより抗がん剤治療時の感染症を減らすことができます。

山村：抗がん剤治療では脱毛が起きることが知られていますが、抗がん剤は、身体他の細胞より増殖能力が高いがん細胞に特異的に効果を出すよう設計されているので、身体の中で比較的増殖能力の高い、新陳代謝の活発な臓器す

ために

チーム医療でがんと闘う がん治療における口腔ケアの重要性



がん治療に必要な知識を共有すること、新しい治療法の開発も

丹黒：口内炎は「ラチナ製剤やタキサン」などの抗がん剤の副作用で起りますが、最近開発されたエペロリムなどの分子標的治療薬でも高い頻度で発生します。

私は医学部の学生さんにも患者さんにも「副作用と薬の効果は裏表の関係」と説明してあります。抗がん剤や新しく開発された薬は、がんにとって正常な細胞にとっても毒になる可能性があります。

青田：予防したり、症状を軽減させることができれば、副作用も減ります。

骨転移治療にも大切な口腔ケア

山村：前立腺がんや乳がん、肺がんなど多くのがんは骨に転移します。骨への転移は痛を伴い、治療することが難しくなっています。

最近、ソドロン酸やデノスマブという骨転移の新薬が登場しました。これらの薬の登場により、今まで改善が望めなかった進行した骨転移を治せるようになってきました(図6)。しかし、これら新薬の副作用に顎骨壊死という大変治療が難しいものがあります。

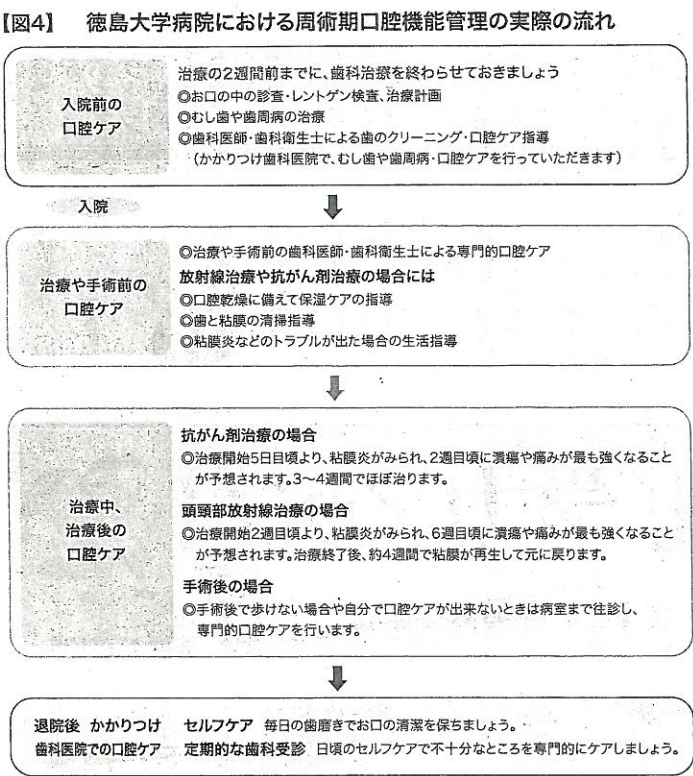
丹黒：骨転移治療薬を使う前に歯科にかかり治療すれば、抜歯せずに済みます。

山村：口腔内科では顎骨壊死に対する治療も担当しますが、口腔ケアにより虫歯の治療や口内炎を清潔に保つて、抜歯を回避し、顎骨壊死を防ぐこともできます。

丹黒：手術やがん治療において口腔ケアが重要であることがよくわかり頂けたことと思います。徳島大学病院と徳島県歯科医師会が、がん患者の口腔ケアを推進する連携について合意し、平成25年12月13日に調印式を行いました。

これは近年、口腔ケアや歯科治療が、がん治療の重要な支持療法として重要視されるようになったことに伴い、がん患者が歯科医療や口腔ケアを継続的に受けられるための体制を整えることを目的としたものです。

今後、歯科医師会とも協力して退院予定の患者にその地域のかかりつけ歯科医を紹介したり、「がん患者歯科医療連携講習」を共同開催したりするなど、地域連携体制を構築していきます。



【図5】 放射線治療・抗がん剤治療を受ける患者さんの場合

① 治療によって、がん細胞だけでなく正常な細胞にもダメージを受けます

抗がん剤による粘膜炎

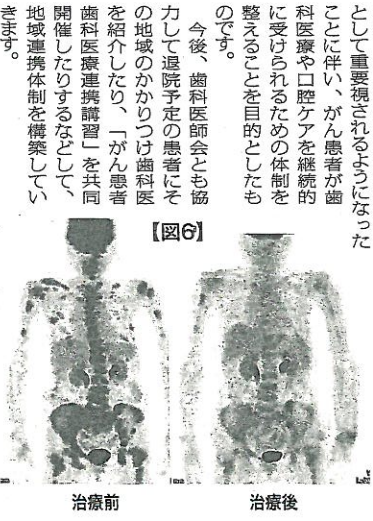
頭頸部放射線治療による粘膜炎

② 唾液を作る細胞がダメージを受けると唾の量が減り、お口の中が乾いた状態になります

口腔乾燥

そこで！お口のトラブルを防ぎ、ダメージをやわらげるために...

- ③お口の中をきれいに保ちましょう。
- ④お口の中をしめらせましょう。
- ⑤歯の治療を行いましょう。



【図6】

10月はがん検診月間です。

丹黒：顎骨壊死はどのような時に起るのでしょうか？

青田：がんが骨へ転移すると、がん細胞が骨を破壊し溶かしてしまいます。前述した新薬は骨が壊されるのを抑える効果があり、骨転移による骨破壊を抑制します。これらの薬はがんだけでなく骨粗鬆症の治療にも使われますが、口腔内科の治療にも使われますが、口腔内科の薬が増えたり、顎の骨を覆っている歯肉や粘膜が傷ついたり、抜歯によって骨が直接細菌にさらされたりとすると感染し顎の骨が壊れてしまうという副作用が現れます。

丹黒：骨転移治療薬を使う前に歯科にかかり治療すれば、抜歯せずに済みます。

山村：口腔内科では顎骨壊死に対する治療も担当しますが、口腔ケアにより虫歯の治療や口内炎を清潔に保つて、抜歯を回避し、顎骨壊死を防ぐこともできます。

丹黒：手術やがん治療において口腔ケアが重要であることがよくわかり頂けたことと思います。徳島大学病院と徳島県歯科医師会が、がん患者の口腔ケアを推進する連携について合意し、平成25年12月13日に調印式を行いました。

これは近年、口腔ケアや歯科治療が、がん治療の重要な支持療法として重要視されるようになったことに伴い、がん患者が歯科医療や口腔ケアを継続的に受けられるための体制を整えることを目的としたものです。

今後、歯科医師会とも協力して退院予定の患者にその地域のかかりつけ歯科医を紹介したり、「がん患者歯科医療連携講習」を共同開催したりするなど、地域連携体制を構築していきます。

1981年以降わが国の死亡原因の第1位は「がん」です。悪性腫瘍です。毎年60万人が新しく発見され、約30万人が死亡しています。死亡原因の3分の1はがんといえるようになります。がんは決して珍しい病気ではなく、身近な病気です。2人に1人はかかる病気になり、その御家族を含めると1000万人ががんで悩んでおられます。がんの新薬は毎月のように発売されますが、進化したがんでは苦しむも大きいだけでなく、莫大な医療費がかかります。

がん治療や手術を受ける前に歯科で口腔ケアを行うことで手術からの回復を早め、副作用を未然に防ぐことができ、医療費の上もメリットがあります。

ピンクリボン運動の闘いはがんで苦しむ人々をなした。そのためには適切な治療を受ける期間を見つけて適切な治療を受けたい。この記事を眺まれてまだ検診を受けてない方は明日、すぐに受診しましょう。